

団体（瑞穂町・青梅市・武蔵村山市）

西多摩郡瑞穂町

東京狭山茶農協 エコ栽培茶推進部会



1 主な販売品目

生産物名	希望取引時期
緑茶（狭山茶）	通年

2 販売場所

- ・自宅販売所
- ・JA東京アグリパーク

3 活動内容

（１）東京狭山茶について

狭山茶の歴史は古くは室町時代にさかのぼり、武蔵川越茶として文献に見ることが出来ます。江戸時代には青梅市、瑞穂町、武蔵村山市、東大和市の辺りは茶処として知られるようになります。昭和39年、東京狭山茶農協が生まれ、東京産のものは埼玉産と区別するために東京狭山茶というブランドを立ち上げました。この地域は、お茶の産地としては日本の北限に位置し、そのために甘く濃厚な味わいが特徴の美味しいお茶が育ちます。

（２）東京狭山茶農協 エコ栽培茶推進部会



エコ栽培茶推進部会

食の安全性が求められる中、東京狭山茶農協にエコ栽培茶推進部会が結成され、安全な東京産のお茶を、お客さんが安心して購入できるように、化学合成農薬と化学肥料の使用を５割以上削減した「エコ栽培茶」の生産を行っています。日々、安全安心な「エコ栽培茶」の生産に向け、技術の研鑽を積んでいます。

(3)「エコ栽培茶」生産への道のり

お茶の栽培には、昔から肥料を多く使う傾向がありましたが、都立農業試験場（現：都農林総合研究センター）の勧めを受けて肥料を減らす試験をスタートしました。試験は 10a 当たり施肥する窒素成分を、年間散布量の合計 50 kg の畑と 2 割減らした 40 kg の畑で比較した試験を行いました。数年続けた結果は、茶摘みのタイミングさえ逃さなければ、収穫量や品質にはほとんど差がないことがわかりました。これをきっかけに「東京都エコ農産物」の認証を取得した「エコ栽培茶」の生産にチャレンジしていく事になりました。

(4) 農薬削減への努力

東京都エコ農産物の認証を取得するためには、農薬の使用回数を減らすという点が重要になってきます。それと共に、収穫量と品質を維持できるかということも課題となりました。

農薬については、発生予察トラップを利用して害虫の発生状況を調べることで、効率的に使うことが出来ました。また、虫の交尾を阻害し、発生数を抑えるためにフェロモン剤を使っています。フェロモン剤によって害虫のオスを混乱させ、交尾の機会を減らす事によって発生を抑えています。この技術をはじめ、ひと手間もふた手間もかけて農薬を減らす努力をしています。

4 今後の目標

新しい害虫への対処方法などの情報交換などを常に行っています。例えば、農薬の代わりに米ぬかを使った害虫防除の検討を行っています。また、今後は、この東京都エコ農産物認証制度を PR して、東京狭山茶の販売促進につなげて行きたいと考えています。

5 連絡先

(1) 電話番号 042-557-0351（代表森田園）



熱心に病虫害防除を学ぶ会員



情報交換会